

シズシキ

橋梁防水工法







道路。それは国内の経済活動を支えるだけでなく、地域や人々をつなぐ重要な役割を果たす私達の生活の基盤です。道路には近年の車輛の大型化や、交通量の増大に伴う様々な問題が発生しており、高い耐久性が必要とされています。とりわけ、道路橋は更新時の費用が多額であるとともに、架替工事による社会的影響が大きいことから、その施工には長期の耐久性を実現する工法、材料を用いることが必要不可欠です。

道路橋の主な劣化原因の一つに床版内部への水の浸入が挙げられます。床版内部に浸入した水は床版内部の鉄筋や鋼材を腐食させるばかりではなく、コンクリートそのものの劣化を促進し、床版の耐久性に大きな悪影響を及ぼします。

私達はこれらの問題を解決するため、床版内部への水の浸入防止を目的とした橋梁用防水工法を開発し、それぞれの工法に適した防水材料を提供しております。SRシートをはじめとするアスファルト系橋梁用防水材料は弊社のアスファルト改質技術を応用し、優れた防水性、耐久性を備え、かつ扱いやすい高機能材料として開発されました。これらの橋梁用防水材料を組み合わせた防水工法は床版への水の浸入を防止し、道路橋の耐久性向上に大きく貢献しております。



工法紹介

1 SR-110工法
シート系床版防水層（流し貼り型）



2 SR-130工法
シート系床版防水層（常温粘着型）

3 ポリアスコートⅡ工法
塗膜系床版防水層
（アスファルト加熱溶融型）

*NEXCO舗装施工管理要領の床版防水層（グレードⅠ）に適合



4 ポリアスコートHB工法
複合防水工法

*NEXCO舗装施工管理要領の床版防水層（グレードⅠ）に適合

5 SR700工法
高性能床版防水工法

*NEXCO舗装施工管理要領の床版防水層（グレードⅡ）に適合

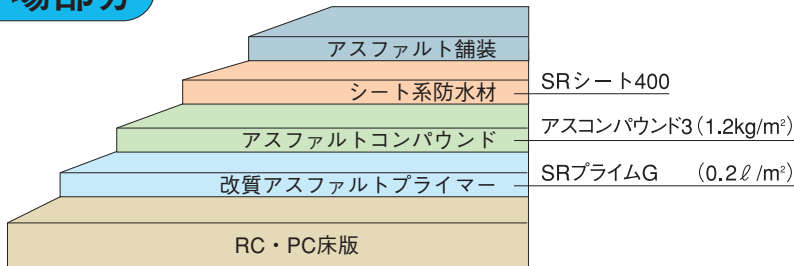


SR-110工法：シート系床版防水層（流し貼り型）

SR-110工法は加熱溶融した貼付用アスファルトで防水シートを貼るものです。塗膜防水のシームレスな防水層とシート防水の安定した品質、優れた強度を併せ持つ信頼性の高い防水システムです。

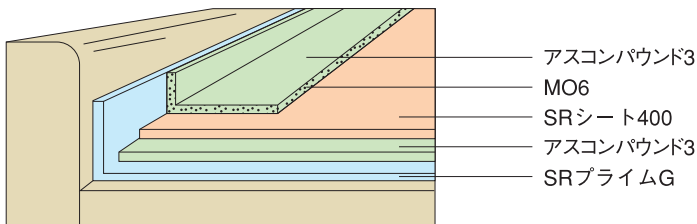
標準仕様

平場部分

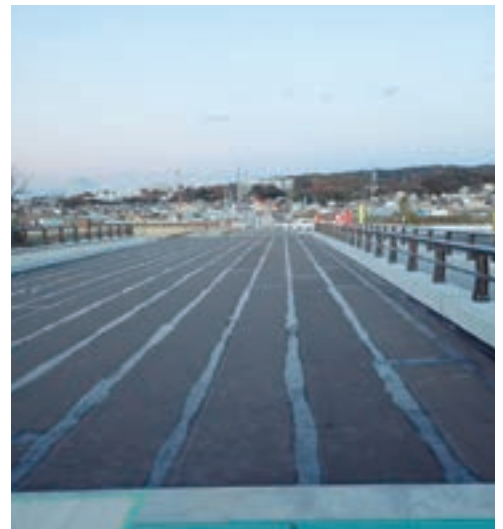
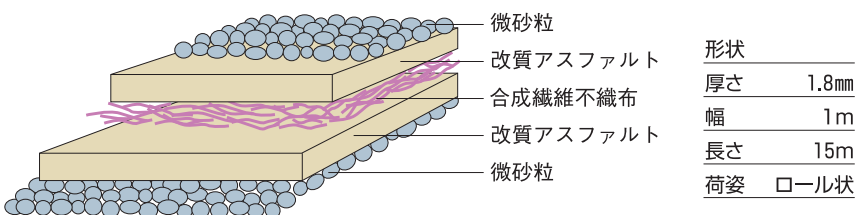


- *この仕様は標準仕様であり、施工要領書、特記などにより変更することがあります。
- *エキスパンション・ジョイント部の処理は端末部分の仕様に準じます。
- *改修工事などの切削下地の場合は貼付用アスファルトの使用量が下地の状況により変わります。
- *鋼床版など下地が金属の場合はSRプライムGMを0.2ℓ/m²で使用します。

地覆部



SRシート400の構成

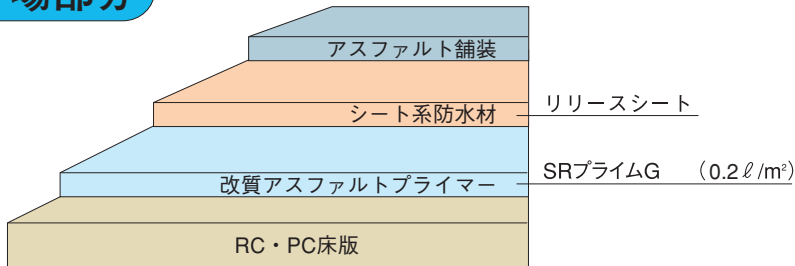


SR-130工法：シート系床版防水層（常温粘着型）

SR-130工法は自己粘着シートを用いる工法で施工が容易です。加熱や接着剤を用いることなく、シート系防水材料の利点である均一な防水層を確保することができます。舗装打設後にブリスタリングを生じにくい特徴があります。

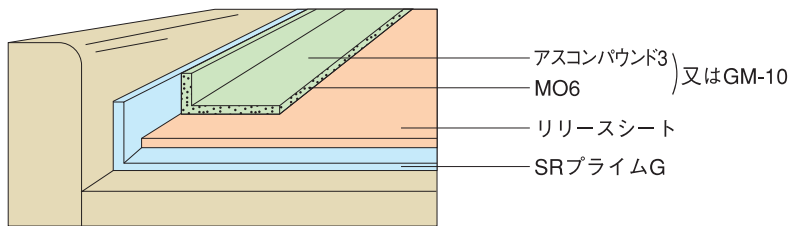
標準仕様

平場部分

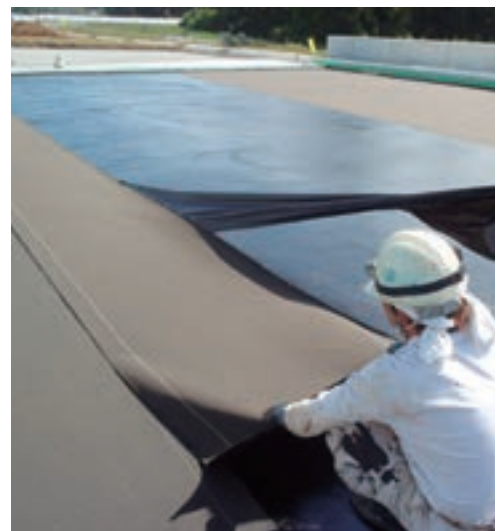
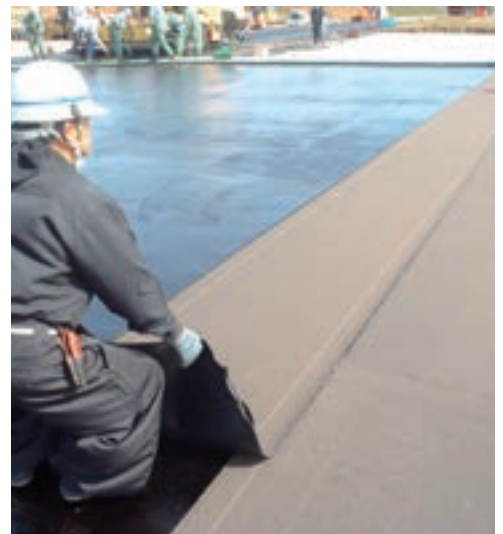
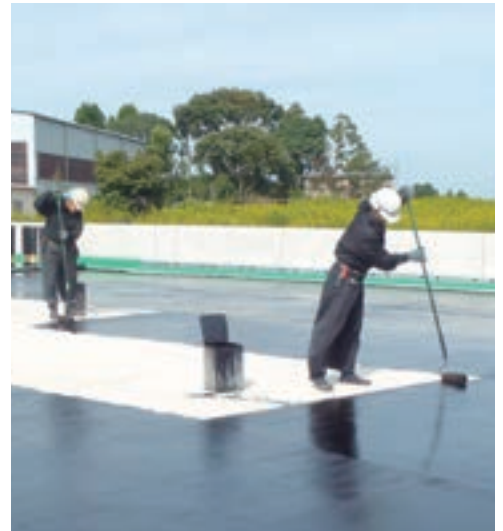
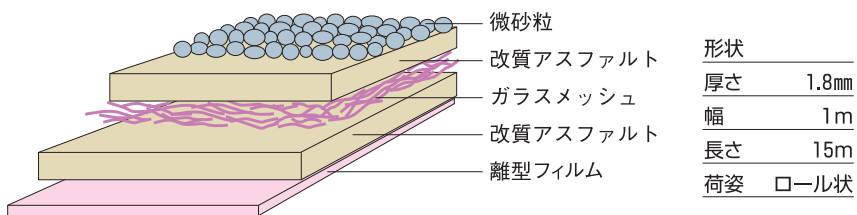


- *この仕様は標準仕様であり、施工要領書、特記などにより変更することがあります。
- *エキスパンション・ジョイント部の処理は端末部分の仕様に準じます。
- *鋼床版など金属下地の場合はSRプライムGMを0.2ℓ/m²で使用します。

地覆部



リリースシートの構成



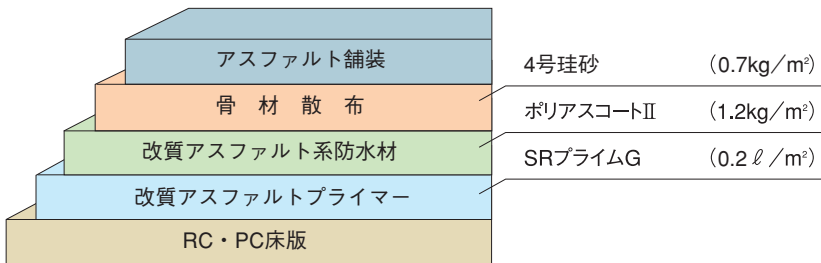
■ ポリアスコートII 工法：塗膜系床版防水層 (アスファルト加熱溶融型)

*NEXCO舗装施工管理要領の床版防水層(グレードI)に適合

ポリアスコートII工法は継ぎ目のない防水層による高い防水性に加え、優れた施工性を有します。弊社の配合技術を活用した改質アスファルト塗膜防水材は耐久性、耐候性に優れた防水層を形成します。

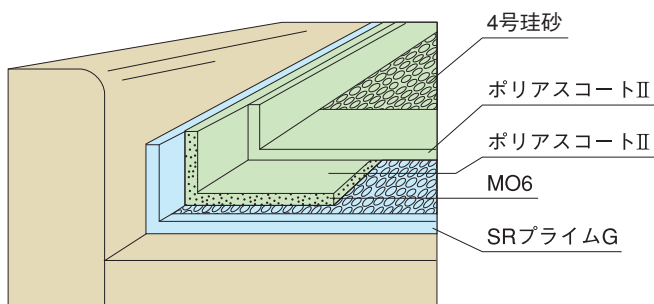
標準仕様

平場部分



- *この仕様は標準仕様であり、施工要領書、特記などにより変更することがあります。
- *エキスパンション・ジョイント部の処理は端末部分の仕様に準じます。
- *鋼床版など金属下地の場合はSRプライムGMを0.2ℓ/m²で使用します。

地覆部



■ ポリアスコートHB工法（複合防水工法）

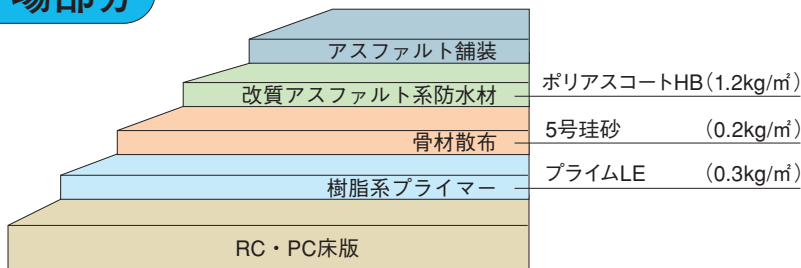
＊NEXCO舗装施工管理要領の床版防水層（グレードⅠ）に適合

ポリアスコートHB工法は変性アクリル樹脂系プライマーと、アスファルト加熱熔融型塗膜防水材料を組合わせた複合防水工法です。コンクリート床版の微細なクラックに浸透し、強固な防水層を形成します。尚且つ、舗装と接着性の良い改質アスファルト系防水材料を塗布する工法です。



標準仕様

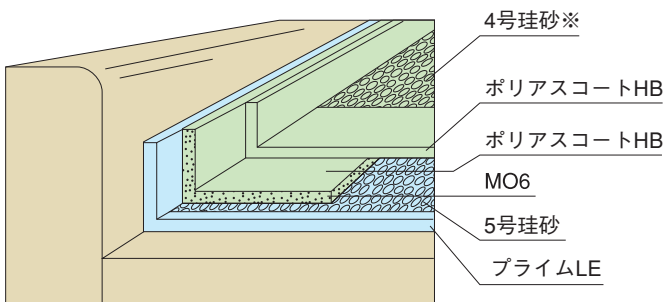
平場部分



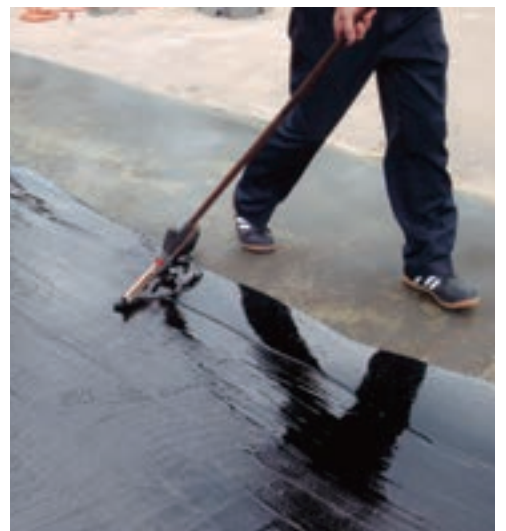
- ＊この仕様は標準仕様であり、施工要領書、特記などにより変更することがあります。
- ＊エキスパンション・ジョイント部の処理は端末部分の仕様に準じます。
- ＊改修工事などの場合は樹脂系プライマーの使用量が下地の状況により変わります。



地覆部



※アスファルト舗装時の外気温が高い場合（35℃以上の場合）必要に応じて、養生用珪砂（4号又は5号）を散布して下さい。



SR700工法（高性能床版防水工法）

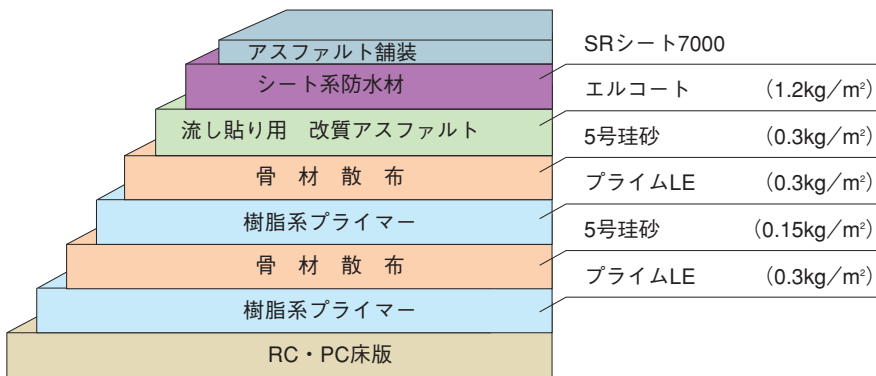
- *NEXCO舗装施工管理要領の床版防水層（グレードⅡ）に適合
- *寒冷地以外、低温時の舗設、低温時を除く舗設

SR700工法は道路橋の耐久性と長期安定性を確保するために開発された工法です。シート系防水材料 SR シート7000は優れた強度と防水性を備えています。プライマーのプライム LE は床版に浸透し、プリスタリングを抑制します。

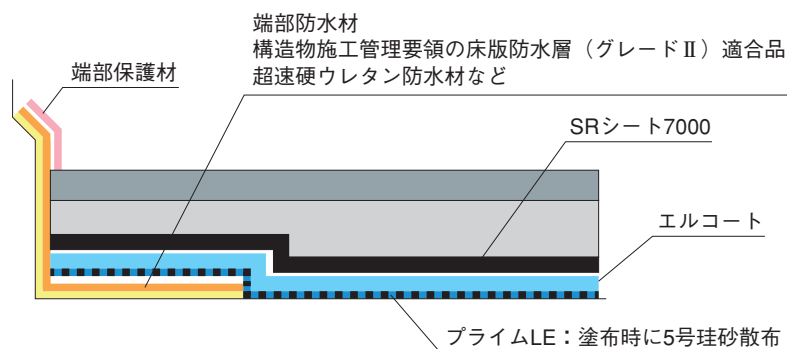


標準仕様

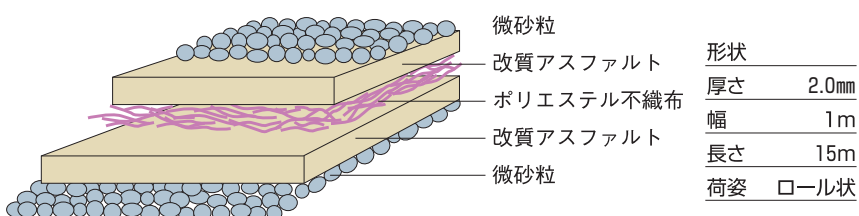
平場部分



地覆部



SRシート7000の構成



製品

SRシート400	シート系床版防水層（流し貼り型）用、改質アスファルトシート	15m×1m 厚さ1.8mm
リリースシート	シート系床版防水層（常温粘着型）用、改質アスファルトシート	15m×1m 厚さ1.8mm
SRシート7000	高性能床版防水工法用、改質アスファルトシート	15m×1m 厚さ2.0mm
アスコンパウンド3	シート系床版防水層（流し貼り型）用、アスファルトコンパウンド	25kg/袋
ポリアスコートⅡ	塗膜系床版防水層（アスファルト加熱溶解型）用、改質アスファルトコンパウンド	10kg/袋
ポリアスコートHB	複合防水工法用、改質アスファルトコンパウンド	5kg/袋
エルコート	高性能床版防水工法用、改質アスファルトコンパウンド	15kg/袋
SRプライムG	RC・PC床版用、改質アスファルトプライマー	18ℓ/缶
SRプライムGM※1	鋼床版用、改質アスファルトプライマー	18ℓ/缶
プライムLE※2（A剤・B剤）	複合防水・高性能床版防水工法用の変性アクリル樹脂系プライマー	15kg/缶
MO6	端末処理用、網状ルーフィング	33m×150mm
GM-10	端部処理用、自着テープ	16m×150mm
4号珪砂	表面散布用珪砂	25kg/袋
5号珪砂	プライムLE表面散布用珪砂	25kg/袋

※1グースアスファルトの接着材としても使用できます。

※2遅延剤、促進剤があり、用途に応じた調整が可能です。詳しくはご相談ください。

施工上の注意

- 防水層施工前**
- コンクリート床版上のレイトンス、塵埃、油脂等は確実に除去してください。また、凹凸が激しい場合は不陸調整の必要があります。
 - 排水口にごみ等が詰まっている場合がありますので、水抜き穴の確認と清掃を必ず行なってください。

- 防水層施工時**
- コンクリート床版の乾燥状態を確認の上施工してください。
 - 施工品質を確保するため、雨天日、降雪日及びこれらが予想される場合は施工を中止します。
 - プライマー類の塗布は所定量をムラなく塗布し、指触乾燥にて確認の上防水シートの貼付け作業又は、塗膜防水材の塗り付け作業を行なってください。
 - 防水シートは橋軸方向に平行に、かつ水下から水上に向けて貼付けることを原則とします。
 - シート相互の重ね幅は80mm～150mm程度とし、重ね部が集中しないよう割り付けてください。
 - 防水層端部は最も水が浸入しやすい箇所ですので確実に端部処理及び、目地処理を行なってください。

- 防水層施工後**
- 防水層施工後、そのままの状態でも長期間放置しないでください。
 - 防水層上に油脂類をこぼしたり、火気を近づけたりすることは避けてください。
 - 工事用車両等にて防水層を損傷する恐れがありますので十分注意してください。

*施工方法の詳細については各工法の施工要領書をご確認ください



静岡瀝青工業株式会社

本 社 TEL(054)273-2781 FAX(054)273-3140
〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町4番8号

東京営業所 TEL(048)936-7094 FAX(048)936-7097
〒340-0807 埼玉県八潮市新町42番地

名古屋営業所 TEL(052)661-2846 FAX(052)661-2706
〒455-0046 愛知県名古屋市港区大手町1丁目5番地

盛岡連絡事務所 TEL(019)641-0431 FAX(019)641-8451
〒020-0121 岩手県盛岡市月ヶ丘3丁目39番7号

■本パンフレットの物性値、仕様及び標準寸法は、予告なく変更させていただきます。